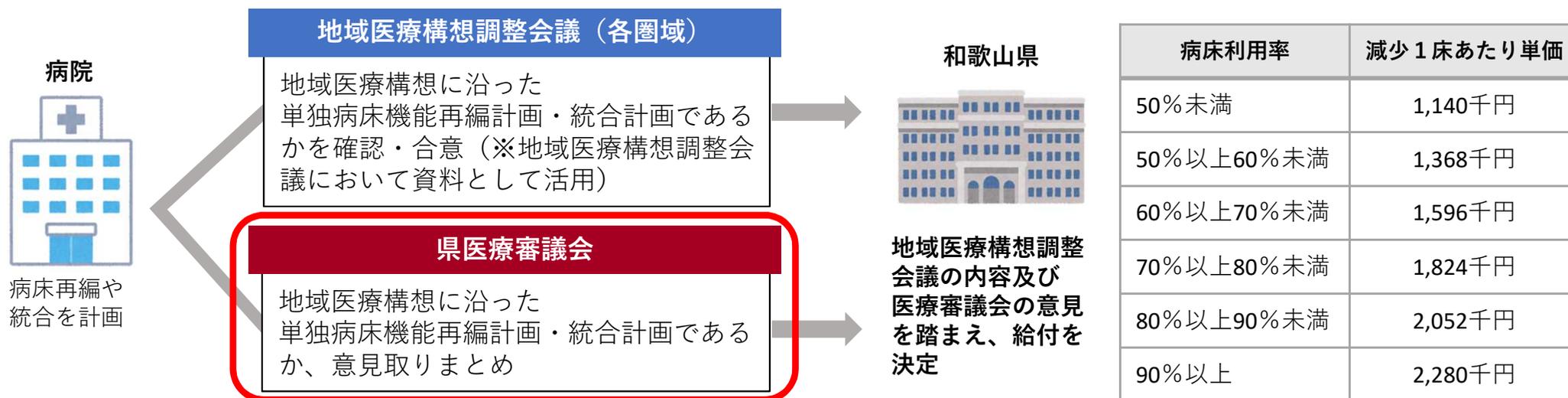


# 地域医療構想の実現に向けた取組を 支援する「病床機能再編支援」

# 病床機能再編支援事業（給付金）

- 【目的】 地域医療構想の実現に向けた取組を支援するため、令和2年度に創設
- 【支援内容】 **病床減少を伴う病床機能再編や再編統合に対し、病床利用率と減少病床数に応じた給付金を支給**
- 【支給要件】 **地域医療構想に沿った病床再編・統合である**という**地域医療構想調整会議**の議論の内容及び**都道府県医療審議会**の意見を踏まえ、都道府県が必要と認めたもの
- 【財源】 全額国庫（法改正により令和3年度から地域医療介護総合確保基金事業へ位置付け）
- 【その他】 使途に制約はなく、病床機能分化・連携推進事業費補助金との併用可

給付金の種類	支給対象の医療機関	支給額の算定対象
① 単独支援給付金	平成30年度病床機能報告における高度急性期・急性期・慢性期の稼働病床数の90%以下まで病床数を減らした医療機関 （※事前に「 <b>単独病床機能再編計画</b> 」の作成が必要）	稼働病床のうち減少する病床数
② 統合支援給付金	複数医療機関が統合（1以上の病院が無床化）し、平成30年度病床機能報告における高度急性期・急性期・慢性期の稼働病床数の90%以下まで病床数が減ることになる「 <b>統合計画</b> 」に合意した医療機関	稼働病床のうち減少する病床数
③ 債務整理支援給付金	②の統合計画に合意し、統合によって廃止となる医療機関の未返済の債務を返済するために、新たな融資を受けた承継医療機関	融資に対する利子総額



病床機能再編支援（単独支援給付金） 申請予定医療機関

地域医療 構想の 構想区域	施設名	主な 診療科	現在の病床数 → 今後の病床数							病床の減少数			内 容	病床数 変更時期 (予定)	(参考) 地域医療構想調整会議 での協議		
			一般病床・療養病床			精神 病床	一般病床・療養病床			精神 病床	一般病床・療養病床						
			急性 期	回 復 期	慢 性 期		急性 期	回 復 期	慢 性 期		急性 期	回 復 期				慢 性 期	
1	和歌山 医療法人西村会 向陽病院	内科 循環器内科 脳神経外科	102		48		19					▲83	0	▲48	・急性期病床83床、慢性期48床 を廃止	令和7年 3月	令和7年3月18日 調整会議において合意予定
2	和歌山 しこねクリニッ ク	産婦人科	4				0					▲4	0	0	・急性期病床4床を廃止 (無床化)	令和6年 10月	令和6年8月29日 調整会議において合意済 意見等なし
3	有田 社会福祉法人 恩賜財団 済生 会有田病院	内科 外科 整形外科	104	80			69	80				▲35	0	0	・急性期病床35床を廃止	令和7年 3月	令和6年9月5日 調整会議において合意済 意見等なし

# 単独病床機能再編計画

機能区分	① 平成30年度 病床機能報告				② 令和2年4月1日時点				③ 現行（令和6年7月）				④ 病床機能再編後（令和7年4月以降）			
	病床数	入院基本料 又は 特定入院料	許可 病床数	稼働 病床数	病床数	入院基本料 又は 特定入院料	許可 病床数	稼働 病床数	病床数	入院基本料 又は 特定入院料	許可 病床数	稼働 病床数	病床数	入院基本料 又は 特定入院料	許可 病床数	稼働 病床数 (見込)
高度急性期																
急性期	1	急性期一般入院料 4	102	27					1	急性期一般入院料 4	102	27	1	有床診療所入院基本料 1	19	17
回復期																
慢性期	1	療養病床入院料 1	48	27					1	療養病床入院料 1	48	21				
分類なし (休棟等)		—		—		—		—		—		—	—	—	—	—
計 (一般病床+療養病床)	2	—	150	54		—			2	—	150	48	1	—	19	17
変更の概要	療養病床を含む150床を有する病院								療養病床を含む150床を有する病院				一般病床19床の有床診療所へ変更			

(①注) 平成30年度病床機能報告から転記する。  
「病床数」は病院のみ記入する。

(②注) 令和2年3月31日までの間に病床機能・病床数を変更した場合に記載する。

(③注) 令和2年4月1日以降に病床機能・病床数を変更した場合に記載する。

**当院における現在の病床の状況、再編理由、  
構想区域の現状・課題など 【詳細】**

現在、急性期・慢性期合わせて150床を有していますが、ここ数年は手術件数、救急入院数いずれも減少し病床稼働率は約30%まで低下しています。医師、看護師などの確保も難しく、地域の人口減少に伴う医療需要の変化にも対応できておらず、地域医療確保のための役割を果たせていないのが現状です。

そこで、当院の構想区域での今後の役割として、救急告示は廃止し（当構想区域には救急対応可能な病院が複数ありますので）、外来診療、入院加療、手術加療に最大限注力できるように経営の効率化を図るため、19床の有床診療所へ規模縮小、変更することを決断いたしました。



**病床機能再編後の当院の体制・あり方**

団塊の世代が後期高齢者となり医療や介護の需要が大幅に増加する中、一般内科、循環器内科、脳神経外科、脊椎・脊髄外科の領域で外来診療を充実させ、地域医療機関からの紹介患者の受け入れ及び入院加療にも従事し、また、手術加療も積極的に行うことで、地域医療の確保に現在よりも有意義な形で貢献できるのではないかと考えております。

# 単独病床機能再編計画

医療機関名 しこねクリニック

機能区分	① 平成30年度 病床機能報告				② 令和2年4月1日時点				③ 現行（令和●年●月）				④ 病床機能再編後（令和6年10月以降）			
	病床数	入院基本料 又は 特定入院料	許可 病床数	稼働 病床数	病床数	入院基本料 又は 特定入院料	許可 病床数	稼働 病床数	病床数	入院基本料 又は 特定入院料	許可 病床数	稼働 病床数	病床数	入院基本料 又は 特定入院料	許可 病床数	稼働 病床数 (見込)
高度急性期																
急性期	1	有床診療所 入院基本料	4	4									0	なし	0	0
回復期																
慢性期																
分類なし (休棟等)		-		-		-		-		-		-		-		-
計 (一般病床+療養病床)	1	-	4	4		-				-			0	-	0	0
変更の概要													無床化			

(①注) 平成30年度病床機能報告から転記する。  
「病床数」は病院のみ記入する。

(②注) 令和2年3月31日までの間に病床機能・病床数を  
変更した場合に記載する。

(③注) 令和2年4月1日以降に病床機能・病床数を  
変更した場合に記載する。

**当院における現在の病床の状況、再編理由、  
構想区域の現状・課題など 【詳細】**

産科有床診療所として分娩を取り扱う。



**病床機能再編後の当院の体制・あり方**

分娩の取り扱いを中止し、産科婦人科、内科、小児科の無床診療所としての機能を担う。

# 単独病床機能再編計画

医療機関名

社会福祉法人恩賜財団済生会有田病院

機能区分	① 平成30年度 病床機能報告				② 令和2年4月1日時点				③ 現行（令和6年7月）				④ 病床機能再編後（令和7年3月～）			
	病床数	入院基本料 又は 特定入院料	許可 病床数	稼働 病床数	病床数	入院基本料 又は 特定入院料	許可 病床数	稼働 病床数	病床数	入院基本料 又は 特定入院料	許可 病床数	稼働 病床数	病床数	入院基本料 又は 特定入院料	許可 病床数	稼働 病床数 (見込)
高度急性期																
急性期	3	急性期一般入院料 1	104	104					3	急性期一般入院料 1	104		2	急性期一般入院料2	69	
回復期	2	地域包括ケア病床入院料1 回復期リハビリテーション 病床入院料 1	80	80					2	地域包括ケア病床入院料1 回復期リハビリテーション 病床入院料 1	80		2	地域包括ケア病床入院料1 回復期リハビリテーション 病床入院料 1	80	
慢性期																
分類なし (休棟等)		—		—		—		—		—		—		—		—
計 (一般病床+療養病床)	5	—	184	184		—			5	—	184		4	—	149	
変更の概要													急性期104床のうち35床を廃止			

(①注) 平成30年度病床機能報告から転記する。  
「病床数」は病院のみ記入する。

(②注) 令和2年3月31日までの間に病床機能・病床数を変更した場合に記載する。

(③注) 令和2年4月1日以降に病床機能・病床数を変更した場合に記載する。

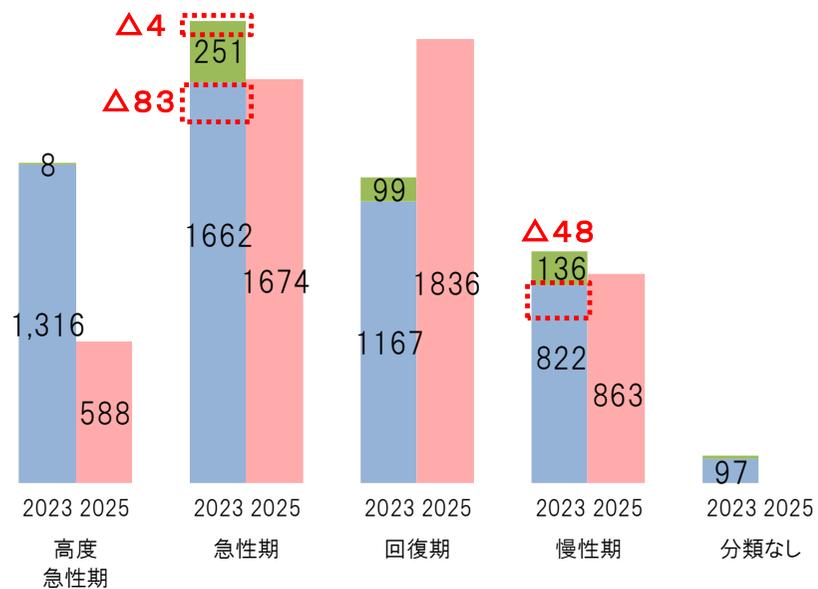
当院における現在の病床の状況、再編理由、 構想区域の現状・課題など 【詳細】	
<b>【入院患者の現状】</b>	
・ 許可病床数：急性期104床、回復期80床（回復期リハ、地域包括ケア各40床）計184床	
(令和4年度)	急性期 在院患者数 29,456 稼働率 77.6%
	回復期リハ 在院患者数 11,323 稼働率 77.6%
	地域包括ケア 在院患者数 8,754 稼働率 60.0%
(令和5年度)	急性期 在院患者数 25,129 稼働率 66.2%
	回復期リハ 在院患者数 10,526 稼働率 71.9%
	地域包括ケア 在院患者数 7,343 稼働率 50.2%
(令和6年度)	急性期 在院患者数 7,758 稼働率 61.1%
7月迄	回復期リハ 在院患者数 3,883 稼働率 79.6%
	地域包括ケア 在院患者数 3,512 稼働率 72.0%
<b>【再編理由】</b>	
地域医療構想の観点から、過剰となっている急性期病床の削減を令和6年度中に実施する。病床削減数は、医療圏の人口推移・病床稼働率を鑑みて104床を69床とする。	



病床機能再編後の当院の体制・あり方
有田医療圏において、有田市立病院とも連携を取りつつ、第8次医療計画に基づき、引き続き急性期病院としての任務を継続いたします。 特に有田医療圏においては2つの急性期病院で機能分担を進め、効率の良い医療を展開するために、外科的疾患を当院で担当すべく、設備および人員配置を進めているところです。
一方、急激な人口減の状況において、特に高齢者人口も減少に転じている和歌山県、有田医療圏ではこれからは高齢者の疾患が急激に減少することが推察されます。急性期病院の機能分担はもとより、変動する医療需要さらには働き手の減少に応じて適切な病床数を設定することは必須であることから、今回、今までの病床稼働率やその内容を踏まえ、急性期1病棟35床の廃止を決定いたしました。
今後も、有田医療圏での医療の発展・維持のために、現有の医療資源を有効活用しながら、他医療機関とも協力して、求められる急性期医療を展開していく予定です。

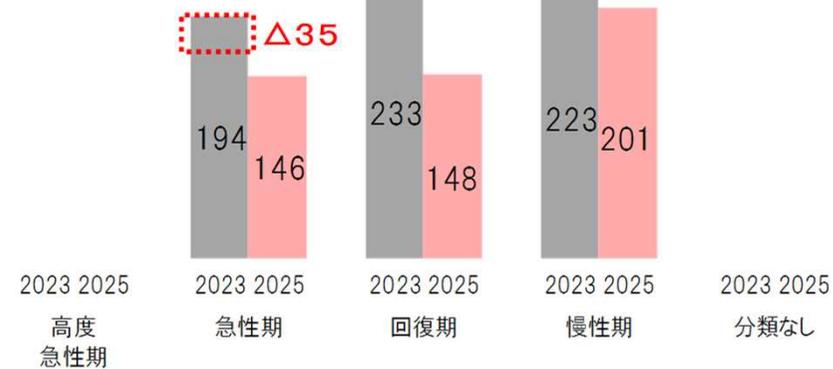
# 和歌山・有田圏域の病床数

## 和歌山 保健医療圏構想区域の病床数



■ 和歌山市の病床数(2023年)
 ■ 海南・海草の病床数(2023年)
 ■ 2025年の必要病床数(地域医療構想)

## 有田 保健医療圏構想区域の病床数



■ 有田圏域の病床数(2023年)
 ■ 2025年の必要病床数(地域医療構想)